

第1回
ワークショップ

ジェスチャーで 伝えてみました！

普段とは異なるコミュニケーション方法(ボディランゲージなど)を体験しました。

今回は、外国の方、聴覚障害の方、東急電鉄の方にもご協力いただきました。



●講師 **廣川 麻子氏**
観劇支援団体シアター・アクセシビリティ・ネットワークを設立。詳しくは8ページ参照。

ジェスチャークイズ — 廣川氏とともに —

普段の生活では、体を動かすことで相手に何かを伝える機会は少ないと思います。まずは、ウォーミングアップとして、ジェスチャークイズをしました！
グループの1人がカードに描かれている食べ物を体の動きで表現します。他の人は何を表現されたか考えて、答えます。



ラーメンかな？
うどんかな？



指が3本で、フォークみたいだからパスタですね！

ハンバーガー！

「うどんとラーメンどっちだろう？」「ハンバーグとステーキの違いはどうやって伝えよう？」と、相手に伝えるにはどうすればいいのか、色々と工夫して表現してみました。

コラム 東急電鉄の窓口等での取組み

4言語版(中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、英語)の路線図を用意し、簡単な英語で案内しています。より詳細な説明が必要な時は、専用のアプリを利用し、5言語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語)で対応をしています。

また、翻訳アプリを使用することにより、より詳細にご説明することもできます。



まちの中で体験！

コミュニケーションのきっかけとして、スマホなどがあれば翻訳アプリや、メモアプリなどを使って、やり取りできます。具体的な名前(地名や駅名、お店の名前など)、ジェスチャーで伝えにくいものはアプリを使うことも有効です。地図や路線図なども手がかりになりました。

外国人
お寿司って手で食べたりするんです。

外国人
電車に乗りたくないの

世田谷線ですか？
それとも、田園都市線ですか？



さまざまな手段を使い、お互いに コミュニケーションが取れることを実感！

- 参加者の発言
- ボディランゲージで伝わると楽しい。
 - 体を使って相手に伝えることで心が通じた。
 - 伝えようと互いに努力すること、相手の立場を考慮することが大事だと気づいた。
 - 恥ずかしがらず、伝えていきたいと思う。
 - アプリは便利だが、ボディランゲージのほうが心が通じた感じがした。
 - 外国人観光客には建物などだけでなく、地域の人とふれ合ったりして、日本の文化も是非感じてほしい。

外国人
そうなんですか？



外国人
つり革？
電車かな？



ジェスチャー以外にも…

筆談で伝える

アプリで伝える



アプリの紹介8ページ

